

EXHIBITION

IN ASUKA

2019.11.23 sat - 12.15 sun

展覧会

WORKS
FROM
ARTIST IN RESIDENCE

滞
在
制
作

奈良
県
明日香村

野原 万里絵

MARIE NOHARA

徳本 萌子

MOEKO TOKUMOTO

佃 七緒

NANAO TSUKUDA

日本の起源で「美」を拓く。

入場無料

ADMISSION FREE

主催 | 明日香村教育委員会
協力 | 奈良県立万葉文化館、南都明日香ふれあいセンター、犬養万葉記念館、飛鳥坐神社
後援 | 明日香村、(一財)明日香村地域振興公社、(公財)古都飛鳥保存財団、
国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

飛鳥アートヴィレッジ

飛鳥アートヴィレッジ 展覧会 2019.11.23 sat - 12.15 sun

展覧会会場



奈良県立万葉文化館・展望ロビー／野原 万里絵

開場時間／10時～17時30分(入場17時まで) 休館日／月曜日



南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館／徳本 萌子

開場時間／10時～17時(入場16時30分まで) 休館日／水曜日



飛鳥坐神社／佃 七緒

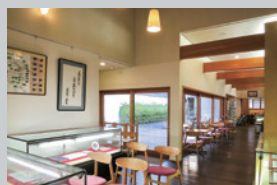
開場時間／10時～17時 期間中無休

関連プログラム



現地制作公開

期間 | 8月～11月中旬(随時)
会場 | 明日香村中央公民館別館(明日香村御園353-1)
展覧会までの期間中、アーティストの制作の様子を随時ご覧いただけます。(制作をしない日もありますのでご了承ください。)



飛鳥文化未来会議「飛鳥デザインウィーク連携企画」

日時 | 10月26日(土)13時～15時
会場 | 南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館
参加無料、要予約(飛鳥デザインウィークのHPよりお申し込みください。https://japandesignweek.jp/asuka/)
明日香村の文化資源の活用について考える「飛鳥デザインウィーク」の主催企画に、3名のアーティストが登場します。



アーティスト交流会

日時 | 10月11日(金)15時～17時
会場 | Matsuyama Cafe(明日香村越2-1-1)
ワンドリンク注文制、予約不要
3名のアーティストがこれまでの作家活動を紹介し、参加者のみなさんと茶話会形式で気軽に交流していただけます。



オープニングトーク

日時 | 11月23日(土・祝)13時～14時30分
会場 | 奈良県立万葉文化館
参加無料、予約不要
展覧会初日のトークとして、3名のアーティストが自らの作品を解説すると共に、滞在期間中のエピソードや作品制作のプロセスなどをお話します。

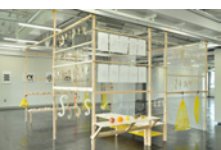
ARTISTS PROFILE



《青い絵》2018 ©ハレバレシャシ



《黒をめぐる話》2017



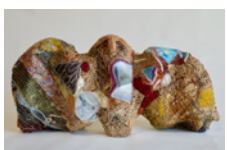
《静物画(フルーツのためのアトリエ)》2019

野原 万里絵 Marie Nohara

1987年大阪生まれ。2013年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程修了。絵画を描く際の感覚的かつ曖昧な制作過程に関心を持ち、自ら制作した定規や型紙などの道具を用いた絵画作品を制作・発表している。また、自身が道具で絵を描く行為に加えて、ワークショップを日本各地で開催し、協働制作による作品も発表。他者とのコミュニケーションを通じて、絵画の新たな可能性を模索している。



《川の織》2018



《地図柄の星》2019



《大子まちなかアートウィーク》プロジェクト風景 2019

徳本 萌子 Moeko Tokumoto

1993年神奈川生まれ。2015年武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科テキスタイル専攻卒業。2018年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程入学。現在在籍中。テキスタイルの技法と素材をもとに、主にミシンを用いた平面および立体作品を、国内外のアーティスト・イン・レジデンスに参加しながら制作・発表している。時間の経過で移ろいゆくものの表情や、その土地に蓄積された思考にも関心を寄せ、それらのルーツとなる土地の記憶、動植物との関わりなどを現代の美術表現として作品に織り込むことを目指している。



《dwell-3.9.2018》2018



《積み重ね》2018



《ハッピーバースデー》2018

佃 七緒 Nanao Tsukuda

1986年大阪生まれ。2015年京都市立芸術大学大学院美術研究科陶芸専攻修士課程修了。様々な国に滞在し、その土地に住む人々とのコミュニケーションを作品表現の主軸としている。人々の日常生活を構成する家財道具や住居などの具体的な情報や、その中で営まれる人々の物語を元に、ドローイング、映像、陶素材、日用品など、特定の素材にこだわらない作品を制作・発表している。

公募で選出された若手アーティストが、村民との交流を通じて、明日香村を題材にした作品を制作・発表する『飛鳥アートヴィレッジ』は、今年で6回目の開催となります。今年の3名のアーティストは、2月に実施したプレリサーチ・ワークショップを経て、夏から2か月間以上の現地滞在(アーティスト・イン・レジデンス)をおこない、例年よりも長い時間をかけて作品制作を進めています。そして、今年の展覧会は初めて3つの会場にて開催し、作品鑑賞と共に村内の回遊も合わせてお楽しみいただけます。また展覧会の会期前には、制作現場の公開やトークイベントなどの関連プログラムを複数実施します。3名のアーティストが明日香村での体験を独自の解釈で表現した作品と、各々の村内での活動や制作のプロセスに触れながら、明日香村の新たなアイデンティティを見出す機会になれば幸いです。



— バスをご利用の場合 —

「樫原神宮前駅東口」(2番のりば)から「赤かめ周遊バス」に乗車

時刻表は奈良交通バスのHPでご確認ください。※近鉄飛鳥駅からもバスが出ています。奈良交通お客様サービスセンター TEL:0742-20-3100

お問合せ先

明日香村教育委員会 教育文化課

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村中央公民館内)
TEL: 0744-54-3636 FAX: 0744-54-4647
E-mail: a-kyoiku@tobutori-asuka.jp



飛鳥アートヴィレッジ Facebookページ